たる御決蔵を御奉告、御射をもつ

現段階につき見ざに聞召されたが

局番く苛烈墜艦の機相を加へ相脳

を以て民一間を呼ぬさせ給ふ 深き十二月八日を三度迎へて御射 いわが大阪県の中に経過ぶた一大

物質と生産力を特み両日反攻を心

敵米英に共闘窩なるを緊遽して居るので

りする島側ひの飛石作

一処き間々したが、給も暗窓

と、石に殴らり

学洋、中央太平

官長令司藤傑

る。その大脳を

くすればこの間では玉頭心配はな

|| 一般の | 一般

目標があり『懸は山嶽よりもなく

死は過毛よりも戦し。とする無敵

が模擬されたので

る時、宣戦の大部

に無威しつつあ ある。しかし我に於いても既に十一へが徹底

つたのである。これを護用抵用さけなる人的物的資献をその手に握

鎮海警備府司令長官 後

勢へ追撃戦

・ 遺憾ながら物質 断くて場職第三年は彼我の一大

はならぬと思ふ大祭であります

敵艦隊ヲ撃破

院深夕之ヲ嘉ス

惟フ

三戰局

ハ盆多端ヲ加フ

汝等愈務勵努力以テ朕カ信倚ニ副ハムク連日ニ旦リ惡天候ヲ冒シ勇戦奮闘大ニ

化すると共に取力 の衛熊駅を弱 を賦破防し、また

宣言し自らの血と肉を以て創設に関する不動の強則を堂々中外に

を執つて身命を否関に奉ぎ

一して大御稜威の下

は克く阪を選い酸

朝鮮軍司令官

戰

方面海域ニ於テ寡勢克

勅



され、また刻々の版

戦災に燦



合艦隊司令長官に

奮鬪 **旅舞より『報道宣原および國国選明これを決定、ついで天羽信報局** を御嘉尙

質相以下全閣僚出席、か見専相より首相官巡に開催、東係

車耳 【東京館話】 定 例 閣

議 會職開催に関する作』につき説明決定、早野諮問官長より「地方長官 | 医國務相 | 配

赤軍砲艦二を駆沈

建取除二隻他船艇五を軽沈した ノ駿海軍御艦隊の砲艦二隻、火薬 の赤軍橋頭堡教授に起かんとする

を報告午後一時ば五分版會 の意明によればケルチ南方の



報 も満二ケ年を經過 数しました。今朝 を記事第二周年 小 を採してより早く あります。

| 順みれば今次大東距における戦ます がさま施して、勝員路界間に全部 官民各位の留職に貸したいと存じ ます

昭

一年後の今日、春か

一般に被我相對時 ては、今後被ちでも物力を伸展し ぶろ第一線解兵を確認も

めある変物であ

本は最近航行機及び造船に於て朝

愛めるばかりの大鼠巣を駆げつゝ

因として、

富民一般の生産的でカ

に於て第一級將兵に劣らさる、西

は張思念が襲撃として**出き**に活動

のものは、野食補一時販の決を見る

ます、況んや吾が統師力及び能力

し、以て観力の終和に於て観然必

を貼げて、物力に於ても敵を夜間

得るの餘地を存して居るのであり **強語次第、能率の發揮し方に依り**

推進

目倒しき取果 し得るに足る

軍機資源の増産とこだて、前途即

賭君と共に欣びに堪へざる所でも

とは、本部省の安心より学品官民

朝鮮

總

督

既に枯腐緑腫化セリと輾麻峡豚し、有族に及べる原園日本の取力が、

皇

の部談的版化 師力、脳力及び

とし、思らく明春し他の面に於て癖く 影に達し、翻役 の生態力は既に

し難き置跡に在るもの さる所でありますが成と、他我戦に至つでは最初より敵の遠と及ば 努力によつて見事之を打破り、以 カの物像は、音が一塊手一投足の一勝の鍵を振まねばなりませぬ

りと確信するのであります て職力の概和に於て職然勝利を把一 一誠において最近極次に直り限も用言致じますが、吾が皇軍は第 る機相を大觀するに、學徒志原兵 動つて吾が朝鮮半島最近に於け

人間も年島の宮民が、天皇中心に は今更智な返もありませぬ、而し る多望多幸なる場合を有すること

て今文化の運命を自ら開始すべき

て歌のこの反攻 一力、特に航空機と船舶の敷造に於一決戦の機となるや必然でありまし あり、斯くして銃後の大阪県獲得

反し音が星國日

の大和、脳力の結集に俟つにあら でありませう は先づ第一に朝鮮よりとかふべき 体し乍ら果敢なる起心も大心

じて敵を威減す。ては敵に此し突然の現況にあるの

力に依りてのみ結集の美果を收め指揮的立場に在る者の、職と派の 組織の衝撃大小を問はず、懲じてく、而して人和と続力とは、職場 一されば酸じで其の効果を明待し難 強き緩心の 働かざる 所織じて大 以もが遠に存するのでありまして 個が日夜道郷南洋の細立を叫る所

| 対格底しないからである。 重人 | 原な町人となるのに関係としていからである。 重人 | 原な町人となるのに関係として、 ませぬ 一衆の信頼を 概ち得ることは 出來 の存せざる所

情念 決して一般の

に協議する半部の要領域、製して に協議する半部の要領域、製して 色成しつくこれに對応しつくあり に観測する朝鮮の地主軍役師が当 人の例外なく職と訳とを置かに

や高や、各種職場に在る労務大衆 は独長小頭等が楽して一人の例外

なく酸と製とを進んで原注しつく

総事業会 興頭指揮に任じありや否や、 ヌー

が粉香が製して克く時間を正

概念に努力しありや否や 相供が謝と僕との威胁に避りつく解認識し心を典職理に切り換へて

する、これは自分が脱ってゐると

いふ著へに徹底しないからである

関拓の前途多率なる生産の増脂に て居るのです。而して駿に剪み返 方に燃え上り來れる類似を以て、 入りました。而して朝鮮半島は今 を置く時に初めて此気曜は間り

威争を勝ち扱くためには郷力階度 退も に過ぎぬのであるが、然し千丈のかくる人は勿論図宝の一小部分

然に聊かの瑕瑣があつてはならぬ

は敵に一個を除するの領があるの 是あれば、こそ我は勝ち是なけれ、前から

の職と年間官民の結省を記る、 と一千五百萬大衆に野示すべき官 本題者は切取に配等第三年決勝

説陶器に對し、蘇酸の頂大なるに

職み重ねて非常の強弱を要回して

止みませぬ 城 日 報

のがあり、販売の進版に伴る真相の頻繁は隣民の眼を

說社

周

全世界をが聞せしめたこの一年の勝利の記録こそは質に静意を続ぎ

たる大和民族が堂々新世界の創造に向って大海軍を開始せる力強く

膨波の相外は表だ消え去らず。

われらの歌

脱野を脱び波かんとする映意に燃えと建設の一年であつた。果せる故、

自國民の自國を再建せんとも

、文に對流し持る必然の信款と散野物造の増産酸保に、その対かる。一般問因はこの酸酸を圧酸に把握型

力を結集し、苛然にして接触なる決較関略に属て、

で了他的に勝々遠語画に選し、その概意また附鸞及のだ五日のマーシャル諸時神航空版に見られる如く歌の

然しながら最近におけるプーゲンビルやギルバート 勝力の試集に耐く射裂を生ぜしめんとする兆騰然たる 心際しおほせる術なく、戦戦目的に對する國民の優別

しても、その智媛心に似たる旺盛なる戦闘心は蹴じて

一昨年のあの日、

も、国いなる道籍であつたのである。

次いで開戦二年は即ち扇存す

の大麻の下にこ



の原年にましての弱氣酸

くと理解するので

敵に與へたる損害 交戦せる敵第一線E 飛行機擊墜破

に解く歌脳を寄せさせ給ひて前内らせられた外、裏内生産力の増弱 繋沈及撃破せる艦船 線兵力 (俘虜及歸順約十萬を4. 約十九萬三千

一、南方及「アリユーシャン」方面



艦

我方の損害

三萬二千九百六十二名

る所に敵を驚破し 皇軍一度起ち上る

ふことである。

、動ち今が酸ひの

時である。息をもつかせぬ追儺歌

一下に言つた質弱

はこと「、一一年の間に決するとい

れわみたみ にさくいみ大のこ

んかぬち勝

解を讃滅せしめ遊

で速かに必勝の歌帆を鍛くことを

財威に過びつ

が出來ても、彼米克はなかく、手、經過必與とする。我に必勝の際號

を上げないだらう。そこで長羽取

てよますら つた人は一人もなひを勝ち放く問い

いるものの、この暗射の膀胱の決いるものの、この暗射の膀胱の決しば、長列戦になるとは

らず、ただここで、

提期販決して踏するところにあ

海

軍の综合戦

務業水逐洋 艦 艦艦詳艦艦艦母艦 九二一<u>擊</u> 二七八次 果 四六一九天天无三計 拿擊二、特水魚精 計 沈船計經經雷海 捕破舶 船艇艇艇

飛計 で墜機 四 一五六 八○三 隻 隻 隻 大 八 八五七 八五七 特明 煽特潜骤巡空取

品便能監監監監問 一を思ふ、 観に於いて

さへあれば我が将兵一般の戦ひに於いては、 十分納得されたこ にあり」と明んで「不思惑できる、これは親力殿の窓物的資敬をもつて「却しきれないものがあるのは親に 敵がこの膀胱を決 で前く大台間にな 必難既認を作らないればいけない。 が続いて、大台間にな 必難既認を作らないればいけない。 では、こればに実践に では、こればに実践に では、こればに実践に のである。一蹴はそ れてゐるかとい なる消耗戦が前 提表 統容部には既に成算圏々である やにかくつてある たる銃後の生産がこれに個くや舌 れ関因から出てある、然るにその一匹するならば、銃役の生産決しても生れてあるかといへばすべてと一新たにして真に魅力敵の意識に徹 別国和神に燃えたつ紅際は何處か あって、終も得もないこの崇高な 前線の野兵はたい一死報國のみ

のである

節度にようて、物型力を得点機れる数は耐くにして は一般語である 一覧つてあるのであるといふ場へに に強り、その日の感激と緊密とを

人々々が徹底することが今日の

社告 本日登行の朝刊は六頁と致しま 京 調白 献 在



永遠の平和を確立せんとする米英閣域の諸範であつた。明監導

われらは茲に蘇つて敵陣艦の無限の取力と旺盛なる

思聞奮闘しつくある削減の動士の勞苦に威嚇し、武量の影散の人柱と殴った態多暑野将兵の英級に影响の意を

製二層年記念日に置り、

感覚完整の輸びを固くすると

勝利を確定ねばならない。

ものである。

東京総語】長くも

敞必滅の奮起を誓ふ

『骨長賞』劉一徹徹なる動師|東部職員:周年の意節職を日を選[マーシャル階階時に、わが范爾禅・葉げた養えたる勝葉が相離で時ご - 八日を理へを結関禅軍は山水元師・『歌があらせられ、古理職会』賜り今回は二回目のとである。大|【東京電監1 ブーゲンビル島神に一項航空部職が米英珍波の航空観で「度大東部版器問題間総日の十二月

赭顔、湛ふ必勝信念

古賀司令長官の近況

定例局長會議 總督、總監發言

て増産。

間の映話を七日午後四時次の如く

非受檢者に徴用令

へも落伍する勿れ 國民動員圓滑化

地方動員機構を整備

兀山工場明春完成

高橋造船工社長歸任談

伝の好く附る

観覧の棚。ず

家族づれの夢

奮起要望

して銀灰色に輝いてある

官長令司隊艦合聯賀古

軍事施設に必中彈

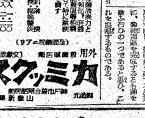
陸海鷲、カルカツタ强襲













日の僧 特じ、質の歌説はこの語されよー の僧 特じ、質の歌説はこの語されよる。 一般からいい 音を歌説の上現本から全状が 音を をあて、側のる患者に無非その質 をあて、側のる患者に無非その質



のても、朝鮮

ぶ一本の追が

决

戰

健

康

美

lt.

有Z通以限也 解和十八年士二月二日 正月二日 正月二日 是企业表示。 最后,我们是是是 是不是的。

應的、空間的國家公司技術 台刊期,取留,排價金屬 利與制定受持人際過程排作技 計論應。即一位,實際工程方方 命配在他也行金統則全定金。 值

人も、その足

堂榮光 三町寺護久に區東市阪大

配第中『際軍 配第中『際軍

が開機械工具 朝鮮オキ商店營業所本語用機械工具 朝鮮オキ商店營業所

三年日に入ら 戦争の11年目

上候也

記

平壤府旭町十七番地

今般左記へ營業所移轉致候間此段御通知申

會談群

をふけ 謹 生出

|||炎為||金老素及杂及免 ||||太高||金二素素或素素引 || 182 || 25 28

8

2到して宣戦せられ、 煙海將・遊隣の祖を結びて相提場するに

なる版化と舞しても、平和を重 立し、南磯の光梁を保全もしり。神武天墓の八猷崎亭の大組とことで改ま示され、その観覚無限。を支解し、原恵永遠の不和を職、天陶大郷の天蠟照説の神歌と、とを吹き示され、その観覚無限。を支解し、原恵永遠の不和を職、天陶大郷の天蠟照説の神歌と、とを吹き示され、その親に様が東京の一様のの光楽を保全もしり。神武天墓の八猷崎亭の大組とこなの名は、一巻の光光をかったのである。

博教

れた。 ることを期せられて最も力强く よつて 明かに示されてゐる

東記の平和を機能したのである

るが、光明蘇灼、質に世界歴史 る劉婆は、申すも長き極みであ

られる。肌も先づ東亜の安定を 別國との交遣を篤くし、萬邦共

順國を譲びて帰國の周妻に武師。此じ至りては己むことが出來なたりて国に被尊米庭問國が、 「「題の初立は筋脂に続する、事あらせられてゐる。」 ならば、東部の安定は完はれ、

周年を迎って

際心屋優無概なる歌國に勤して

軍なる盛域型急を宣示せられた

を増配し戦を振むほか、通問をいる帝國は自任自語の意飲起す。徳舎上り奏めんと欲しても禁め

寄んないな らっかんがら、 島語クルマスピ 島諸ージイフ



する、ピルマ反政。 風貌に掛する時初め れてゐるといふこと 一回歌第一回趣報 一の大統領就任然の武力干渉時 一八九五年及び「九〇二年のペネズエラ紛争などに干渉して中南米譜國の獨立を擁護すると共に、欧洲勢力の米 歌である。ことを覧識した、動ち

代と、その後第二次歐洲大阪航空

今次大戦以後 目ら招く太平洋危

温浴である

武力進出愈々急

九四二年六月廿二日キユー も行つて米洲軍事プロツク 腹不足を口質に生活必需

球内英領島嶼を九十九年間租借しの脚逐艦五十隻の代償として西半 米英協定』で、この結果艦齢超過 島順及び海空軍基地租債に関する 事的侵略へ向けた。その第一歩は シロー主義の方向を再び米洲の軍 軟制大戦の勃發とその後次第に 國力が飛貨し、 国生家の完全支配が置立する法。柳鏡の鑑出が廃止むんとする財政的役員に燃ルを運動的観察を入り方規が配徴の表別方式につえが、過去自甘年間の未過を用心とする出來等はモンロー主義はるものが「米國の一八二三年十二月二日『モンロー主義はア

百廿年の罪惡 一大震への或力で調を動止した。しかし元來モンロー王・韓は北米洲國夢西学館に繋力を伸ばすごとはは別質するが大震への或力で調を動止した。しかし元來モンロー王・韓は北米洲國夢西学館に繋力を伸ばすごとはは以質するが大震への或力で調を動止した。しかし元來モンロー王・韓は北米洲國夢西学館に繋力を伸ばすごとはは以質するが大震への或力で調を動止した。しかし元來モンロー王・韓は北米洲國夢西学館に繋力を伸ばすごとはは以質するが大震への或力で調を動止した。

大使ベイヤードに関へた有名な訓 米大陸の主権者である、米闕の命

一十一世界米優柔の第一歩を野出した一十一世の原則と互思通畅攻戦を決議

諸國民の秘性において米州一階に

それだけにこの背後におけ 悪辣なる弗外交

弗帝國主義時代

があつる。而してその第一



成 北電 避净府 潤準形顯南本町 咸産 海洋府 成鏡北道 臟 纖維維貨配給組合聯合會 北潭 食業 原 是料品 小賣 百 自 木 **興**東氣 動 生產出 車 落浦 柳工 株 川商 式 橋事 資組 業組 堅爛 會 庄組 七合 三合 耐

次のやうに燃え上つた。それは

外頭ギルバート諸島を経て、フー しなければ各個に関唆され成功し ないと共に相勤的に夏大な兵力を

し競鹿の布庫が布かれ、敵を引客 - 選二無二押し寄むて來て居る。 反戦、機能を踏破する戦略である く魔勢を保持し他方面に於て冷慰使用し一方面に於て敵に對し著し ☆……内脏作戦は兵力を重點的に

勝ち抜くのである。

永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國,

類は総力戦である。今や

ポタ豊保 1 分数年 設を属るルで派四

面の状況はどうでもうう

城

謹 必 詔 承 株式會 津 城潭 北鮮自動車 第冊 ____ 双 商町 TL m 津 酸 學循取辦役 常務取締役 海 事 〓 **父**迪株式曾 株 Ш 產 龙 井 山式 \mathbf{F} 府 起 佐 組 敞會 太 宗 清和 夬社

総職が行はれてなり、彼等の國家を吹撃することは許されない、彼等の心を十分に乗しませるのである、もとより、繁腫等は必要なの心を十分に乗しませるのである、もとより、繁腫等は必要ない。

大塚A中様

中域附

中翻

リチヤド・エドワー

際二六隊勝

邮大

茶

ベーク・アーネスト

出來るやうになってゐる、彼瞻にとって年一回の樂しい日がある。そ

保険して新生した昭南から参られて來たこの俘虜をお 存属にとうては、シンガポール、その敵の樹齢の信服を

所服隊

1 名 路級

大聯盟

少佐

如く彼等は異口同語に根据、要された語マライ英語司合語

主外 任科

少里佐路

ナーマス・フランシス

間、開戦の日何既に在って如何なる作戦に確ひとんなな。

ハーバート・スタンレゲルダード・

わが温情に孜々ご働

体等いてある。もう職分と履り減つてある、譬い所

機と足革をし抗動に傾向 ¥ つなと属伊,るのでちた反称 しと太親と現間な寒れまなた。 われわたし度で必初に作所を

夢見る、歸れる日

祖國措いて妻子の事で一

緩めるな!撃碎の手

供心が第4と定まった。 数米炭の原住制動の非菌を除う速かに動物を受除せよる心の段。 低迷した心の傷が、 高彩の家蔵を禁して 歌子・/ 郷直垂前ヶの十分の るとの影響の決意を開が上にも団め身襲ひを観えるとともに、永い間の暗激を 瞬頭がこみあげ、腕がぢつとり であり、簡して勝利を確和さぬ限り東亜十億民族の第二を権付である。第つ4を約1世衆戦との火花第る脳調であり、新レき世紀の暦史を観費する「職人」を認定されたることの立い木曾有のこの大脳等しては、まさに開始的世界戦と 前に侵害認能された東洋は対生の鼠吹きを取り戻し、共衆の基盤は不動の様々 総え間ないแ職勝利への第三年の政際に異滅したのである、世衆闘争に示さ管の近の縁ひも固く、ここに十戦の即を賭けて蘇太機総前烈な決議に残え、一瞬の形の縁びも固く、ことに十戦の即を賭けて蘇太機総前烈な決議に残え、一瞬の

での便りの中から彼等の脳域の概 **深るのである。 濃かい日本**

フ軍醫少佐

へ通してゐるか 何を君



思ひ知らさん

門、伊禄生活に、よつて得 た感像はどうか、戦争はど うなると思ふか

俘虜だちば朝鮮に移されて過を受 海れ言、祖國は勝 この傲慢

ス大尉。自分はシンガポール英軍司令副の連絡貨幣級の任務を

けて既に一ケ年五ケ月を経た、

が英國は勝つと信じる。それは決

敗北の影輪が訪れるのである。彼

後の七時に夕の盧律があつて日曜の一日を終るのである、この

が斑べて、なかには茶道の本とかが、関する者があるといふことである

かうして被等はいま最単の正過の制に規律ある生話を維持させられ

の戦慄

令くぶえのすめい 用









でうな氣がしたが實際は十五分間位だったらう が傾向でやってあるのでそのうち まことに伊藤の身となりながら やうだとは思ふが、



(P) 治 (マライ時間)日本町の飛行機がシンガ

酸のために勝つと信じるのである

腹底に塊じない。ともすれば心の線みから駆撃を続りにも身近に て得た歌人英兵の俘虜である。この敷参の俘虜のうち00名が作奠と入り 続甘受に耐へぬ射等観名を取しつゝ温かいわが正義の

大本管報道部秋山中佐の放送にもあるのである。しかし、去る日の 便等はいま皇軍の正器に威震し

いではかねてから聞いてあたが 道なるものが大戦に深く根型いる

無念残念で盡きせぬ敗戰談

H

自分たち怪機に對

間、病院船がネのす





條管司は歐維職務の整行に一寸の限なきか、衆庶は征身の力をこめ

、一脚を削減に送らう、そして瞬も石炭も食用も飛ひなさ

果は脳嚢されてゐる、郁忠以 世界史に勝利の歴史を刻んで 年間いま もなは 勝利の

のだ、銃後半層は果して眺みく勝利の年とせねばならない

個人として一萬頭合計三萬四

襲げたが、この雄雄しい乙女

たためて仕器を

半幽二千五百萬の怒父小機秘密 三瞬間が取って後接する三瞬間が取って後接する で各方面に異状の感動を呼んで

配として1萬國、柳原博弘長

に鍼後類公のしるしにと同意 て欧朝の戦を披露するととも 即かす島野將長の勞苦に對し 域に個版世界に不滅の厭果を

罪 武官府へ波打つ献金

朝鮮軍後國部を訪れ歐米英區

海軍のお側で奉公

總督も臨席してあす壯行會



總てを戦力增强

美術米葉は無関連群、われ間じて極端を彫御教代させて**地へる** 鏡無双の島虹野瓦帽を削ぎ血を柳つて覇ち得た蛇黒船女と世界 難識三年の日を選へ響心激激して心の中に日の丸の臓を類は握利の難識三年の日を選へ響心激激して心の中に日の丸の臓を類は握利の

造れ 大戦果は周到の作戦から 優秀兵器

我々は六酸果が難る度に関を弱かしを傾けて敵機とわたり合ひ敵要機 れは航空類観ともいふのか難にあっするのに つさりしたもので赫々たる武勵を一また、欧敵が欧忠するときには必 ず平然たるのを見た敵はどぎもを 一台の故障もなかった、

は二年間にわたり南の前級で無

扱かれたやうだつた。また英国は にくい米英げきめつ。

かし猛烈な威威的な場面の連続で のううと思はれるのであるが、質

七千 任瀬氏の手を通じ、この意本 「年の名は文価にもある通りモン・「管職」、巨大東語「共急層の 職立って 脳関してある地町五九田身郎」の如き自戦の傾りが高いた。同以、ビルマが年達がが何に長取に威闘・ストリンと言い本年1五戦であるが ビルマの一少年から 決意の手紙

次いでマレー追蹤を目蹤した萎刈

菱刈氏の講演

シンガポール攻略版の電解的な

はまつ第一に鼻照將兵が崩猛

いればならない。長い間の我慢が の時間が観されてあるとを知ら

独設される様に働く場合です。一て懸きぬ名様りを惜しい関はしい

果敢であつたこと、第二は作取が

ンた、パーシパル中將は一回も創

散華した山本元帥を初め山下

個へおよび習慣を懸切せしむべく 朝鮮姫奉教では七、八の兩日にわ

志願兵制に溢れる半島の赤誠を吐 解する在京県生に高し大阪後の心 た政備訓練 61 扇

医療中尉などから各間収練の演練

生産版充へ

未 泳 込 株金 号 100°003•000 株主助社 大 談 氏 株金 号 100°003•000

內

海 1

清

京 藏商

þĄ

153 13 加店

が無配され一家に ※ヘマ十四日人留然からけた総理・ ※のようけた総理・ ※のはならない。 を表するのは、 を表する。 をまずる。 をする。 をもずる。 をもずる。 をもずる。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな のと収穫量がある。

貯蓄報國米英駿滅!

菰淵研一商

店

曜時の七九四五番京城府中福賞金町ニノー九九

の一億戦闘配置に付けて

農家の人々と農報隊劇的風景

さよなら (

性・む別れ・

古岡海兵訓練 所長闘任談 所長闘任談 のため趣がその他の打合せ のため地であった吉岡施昭兵

朝

鮮

證

券

取

31

所

ついたが、配燃機家と隊員を結ぶ

聞した後、九州各駅の墨山巡尾 で満一ケ月間劇級抑動的素化に散

出てゐる、 初年の副練状況 の副練状況 たというでは、ないから、

秋 Ħ

銃後の我等!

證券現物 配飾代表本局の五一五五番 店

第拾參別決算公告.

川島屋蹬舎

の戦力!

1/46

商を行いた。 を受け、 をのし、 を受け、 をのし、 をのでし、 をし

株主脚定 万

銘記せま十二月八日/

朝

實物取引員組 鮮證券取引

合所

17. 古之前り上映山 日本のサートで十二日 野様サートで十二日 野様の日本の変を町登り自己八 一番の場合では変を町登り自己八

金

金融金

二百八十三

御順申上候

將來一層の御支援を賜り度御案內旁々弊店儀令般左記新店舗に移轉仕り候問

舖移轉御案內

御迷戯相掛申候事深く陳謝の意を表す尚従來の店舗にては場所狭隘の爲種々

移轉先 京城府釿路區鍾路二丁目八番地る次第に御座候 配語光化門の三七〇四番 商

酣

明和十八年十二月六日 以前,建一物,株、式、台、社、町和十八年十二月六日 以为城市等等的比较低也,以为大年十二月六日 以为城市等等的比较低也,从式入名载普换停。计公告

製造して来たので家族は早速図は、トンの大価値に行って登近の日米製造して来たので家族は早速図は、私の歌用代謝を製すためとワシン の支店長として在米してゐた。昭よつて全く事情が通消したので孤

私は本社の米國テキサス州ダラス・十一月廿六日にあの最後的道際に・十一一月六日にダラスを左五分後が世界を舞倒させたハワ・やつて京るで自然的行為ではない

けて第一次交換船で隔回した東洋桐花園

果液な過事のハワイ奇輿攻撃の報に接し せ爾殊約七ケ月間、滕國の不法撰留を受

こおほらかな感動に國民的血潮を逆流さ あの感激の例にアメリガ本エ上空で神運

齊敵愾の眼ざれ

途端に飛行機から引下され收容所行き

東距戦第三年官に突入せんとしてゐるが

の脳酸と肌

ニュオリンスから飛行機で一路ワ 門車で出發し七日朝(米國時間) シントンに殴つたのです、後で乳

マニューラッ 集争させたハワン イ空機の時間でした。 日本の電集も全く知らず版々と。 日本の電集も全く知らず版々と。

ってゐたが、全く驚天動地のこと

やつてまるで自然的行為ではない。 そしてに知識して入のラジオでは、リッチモンド、嘲笑が、財衝司令部、明けてろにトレントンといる小さはお互に、日本はヘワイ空襲など、モンドに刺激して入のラジオでは、リッチモンド、嘲笑が、財衝司令部、明けてろにトレントンといる小される。 他に膨米人だった。これらの米人は再び解題して彼の八時にリッチ、名前を呼んだので事務能に行くと、今後の成り行きを考へてゐた、夜晩行機の郷学は私一人が日本人で、つたぐと誤返し報道してゐた。機の時に飛行場のスピーカーが私の 私は判事の特別能を買って難かに

狂氣の如く

放送されるワシントンに行くことを止め

から汽車で行け

も関原を迫らなかつた イを窓壁し米蔵は相音に指標を窓、心中に載を唱んだのであつた。こ 町の織飯を買つてゐたのである。 糖に腐は一はいになり聲の得數 群報ではないが、7日本が野がハワ が鈴大なる成功であったとを思考 されてゐた。ヘワイ窓壁に早くも

の大戦県に殺い、いまぶめざり张力と二年自の日戦へてあの減した応藤出車の向に出議、米寒暖稲の史意もさらに新たにして大橋の電観に次々と光寒陸峰だる大戦県は南黄に北鎌に矢縁ぎ早に駆けられ、経後に駆動の肌ぶるひもて戦力増乗に粉増電身、この大戦を終め、叫きるひもて戦力増乗に粉増電身、この大戦を終め、叫きる改き祭を振りしめ襲撃として襲うたのはまうるばぬ米寒戦もてし止まり戦荷の決酷だった。あれから二年一星雄落

あの

H

一敵米の狼狽ぶり

篠原好雄氏の談

き威威を 叫びたい衝動に をかり 私は思はず椅子 をを知り 私は思はず椅子

ためにアトランタに碧壁、私は早

シャツ等は危熱にすかして調べら

WYY 密膜と関係したスパイとい

頭の髪の毛

かくて無気味な

に浮かべて守こそ大東距のために

日米開戦に

ムドイツ人はドイツの國際を、日本ったのであるが、この問題條約か

んに大阪果の報告

とは多くむつた、六月十一日級

敵の非道に「臓した」

京城四大門區四大門二丁目數 獎柳韓莊行社長柳原傳氏は昨

を控へを七日に

柳韓洋行が軍へ献金

感謝の三萬圓

りたらすのだ、最高する数の大攻勢をわれ等は血をもつて食ひ止

「優いがたい底力を登理せよ、このためには縁頭弧の火をもつ

12月8日

扶

桑萬年

歷史談世

新らしき 、東亜の

KB

明~十二月八日~を現地で迎く選

質に當時の海域及製成本酸珠(安一

必勝の決意新た

一人なる学島青年の一頭がある。

増解を感じながら 無機将軍の一現地にあつて暗整低迷問近に迫る

少八日々のことを繋へてゐたとこ。現地に粒いたのは〇月〇日。何と

決戦第三年に突入し、三肢び、われいまや全く喰みが陰はれるかの

何物が能く殴り得べき、不思の結ぶりを心は膨より弱かりき、アジャは一つの心

明日は又君と彼の大祭に相家みえむされば此の日我慈致を捨て入院を取る

川管は贈る期間の息の頭の耐めいいかがいれびを起る。マユ河の鮮血に

アジャの守りは一個の血、若人の血部

微船の日、解放の朝、高れ得ぬ八日を理べり見よ、匹散弦に三年、再び冬は

十二月八日の暫ひ

ととびしゃつと顔を願られてしまひか。の者にっどうしたんだっと聞くと

V

別錠で

間記力を貼げての 言れる欧洲が一人の間

國際を随しての大東部隊第三

人も貧るな 一倉茂總長も檄



瀬戸知事は次の強く『大東語記録 韓国国際国国国語へ、英語下四へ

経離帽の高全を押しあらゆる方と観の際に努力してゐるをは事

中国では六日の町画部代章で管内「決戦正月の決意を新たにすること、決戦第三年の正月を迎へる東域府」際止、関係な内飾りのみに止め、 33人る京原府 | 歴上、関源な内部りのあじ止決戦正月だ無駄なしで行かう

記念日迎へ瀬戸知事檄 飾りつける廢止

非番を總動

麗、十五日各飲食店

も微謀目下欧意取調中である

■八窓心の一日から七日ま

数 番負を翻動員して管内の限室製造 は て 観代翻訳主任の指題のもとに非 本 き、人力車取締規則に對する認識。保安生任司督のあとに打合會を開 十五名を集め髪川器長臨路、野中 業者打合會 は六日午後 つに置れる年末期の間取引模器 本町間では九日から十六日まで管 想るべき競談チフスを提載せよと チフスの防疫陣

次和町の高台、町

層の夢霊で取つたが、太 るのでは、一般の一般を

第一放送 明 セ・〇〇 時報、共

ラジオペナ

第四拍明本人 体験について (年後) 付金 (単一) では、 四番の質験あるさ

大城歯科

合家等原収励に建ってか成のため 禪に鍊る闘魂

の製造が数の線を限つて半 りとの大陸徹底がりは好成平洋の荒波は我が腰中にあ



** ・10部智学版(内閣・10部智学版(内閣・10・10部智学版(内閣・10・10部智学版)

総割原地大佐の郷壁範囲に緩動の景を長頭に父兄四百餘名別席して駅 爾承語 (東六) 男爾大燕那弘君

今ぞ君が征く秋

元日各現姫館、十四日名の八八将合祭、十一日名の一八八将合祭、十一日名

學兵を送る壯行の花束

第二放送夜

高額に蘇鍵的網形を表質者には管内 う降度の利効を変り振行かば次の出頭を単批行動を書をお日午後 り、成かの軍事・子屋と2、「のお頭を埋犯行りたと数の名様を変が、て後期と多り、成改を確認します。 と 一般の は しょう は しゅう は しゅ

の命を移り後後に映現ニュースの影響、玄勝側気の中に前射刺繍な管理がな機能が勝尾げられる中に一切な像を繋が勝尾げられる中に一切な像を繋が勝尾げられる中に一切な像を繋がした。

等部本氏、金光小盤の遠談、中 場高近の野談、玄湊明氏、金天 登述の委束をと近職様を徹を務め では、国側の活動に確明する。 とともども生態版を簡に登り回 とともども生態版を

一を発気時、李永柱低眠外世五名の

間間寒途理事の衰緩、李王順長官と自己の東の下に市民館で開催、手

貴族會壯行會

お願り 小院「明子」原稿

白衛越歷發持魯和來店

常 社 性 採

旅館あけぼの 運 搬引越荷造物 十二指腸丸 大陸タイピスー

館畵映信和 場劇央中

and the same

座治明 場劇南城 切封別特。迎日念記的史歷年三第戰開

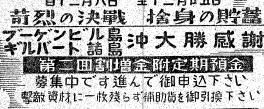
空を守るの年 場場際日京

劇

堂書店

事門の 友信組 引越荷及

城|劇 大戰鬥蓋總脈起運動 捨身の貯蓄





朝朝 解朝

くろがねにあらず、頭髪の山にあらず見ずや君、アジヤの守りこそ、げに

探して歩くことになったのでした なってしまひ私澄が現場に観衝を から河際には羅睺職者が見えなく

貯蓄と金屬回收

ご懐ににじみました のですがこの日は不思証に腕を押。行かは々を歌のつつけました。 ごはありませんでした 現行かば々をよく歌へなかつた。他の起します。私盤は同度も~確 のですがこの日は不思証に腕を押。行かは々を歌のつつけました。

ばっを飲ひました、私はそれまで「飲へるのでした、そこで宮城を避難して、を取行か」へつけられるやう

まを下しませう

(する。日です

大阪部駅銀二周年記念 [の精神を閉勘するととなつを

感銘深き今月の誓ひ

賣工地

のですが附近で膨く人々がいきな

金融併出の三點に避免し入日を期徹底表現は形器、師宮大廳の華麗

城市郷盟の十二月町職 日を選へ定國民総力京 標形と暫し流る人に任せよのるせ友上訳を、我心が双照に

おいまや金く歌るが喀はれるかの。 すね々とうと、愛いなくが際は続退さ。の解記を訪れると、のある第二年で、になりますが、私は一生ごの日の ないまや金く歌るが喀はれるかの。 すね々とうと、この歌記を訪れると、のなる第二年で、になりますが、私は一生ごの日の ないまや金く歌るが喀はれるかの。 すね々とうこと、そいものでもう霧二年 れ節生じる解説の日を理べて賦誤、をくりよせて左の班く訳る「意義」りますがこの日を必見として生き、恐厭寒三年と寒入し、三度ひ、わ 地帯一部における生んしい試験と 出来ません、私は今年村七歳とな のやうなものを魔え三時半頃に起 鍼務にまはされましたがこの日はは行くとすぐに現地病院の蘇務室 國の戰く立とを私還に知る由もあ、取しい文第ですが私は岩石を一つ。し張韶以臨、百二十萬杯民藏默如。歌が传みとする物の戰ひにも翻じと贈さつけられてゐます。勿論お「りヶ萬能々久ヶを明点のです。お「金戲供出の三點と難集し入日を明、養大切な貯蓄により一體力を入為 飛び出して行うたのです。今でも「頃でした。私は生だ知らなかつたう、「鰡かう~と叫びながら現場へ」「隣 田 曜 寛全 ――年前七氏

けるの感激を貯蓄へ

完勝の曉まで續けませう

合の総合を開き、貯蓄率を引

あの日現地萬歳に沸く

■私名い主 いのです。 私選が推卸な膨ヒレて | として思へば私の向いた〇〇キロの(下) 1 | る質びを過度に続はつたことばな | び一人で延易を膨無しました。今 める東の窓の期日を罪んで観を洗 年、米英松線の大昭を郷レー機販です、間もなくほのく、と明け泰 大泉田殿軒が郷産してこゝに二周 あ私輩が知つたのは午前七時でし

一日間決験財産に続ける世五日参での十人

スポープの場合のですね、それで

「所では八日から廿五日参での十人

スポープの 豊が総を握りしめた感激の十二月

の徹底、跳鞴金の貨金化、柳別目

静成職域の設立促進を副る 蓄を勵行し、また各島役所祭に 蓄を勵行し、また各島役所祭に 栗面に断り面積音形の

から、なほ同里天の六ノ三字殿

外たが、脱進器きて東大門初度の

職が今度一般府民のお台所へも踏 豚肉內臟配給 徐紫

整旭タイ

日本紡績京城工程監論 場場的 京 場劇一第

場劇陸大 場劇洋東 座 富

住職、脳出・元 髇

港

金融配

團府

剛團青春座

鑿

皮質 沙原 皮質 沙原 **性病科** 医乳腺士 吳元錫

骨細二丈ろが所えて、申込締切

職

業

紹 介

上記が一下記

新

網溫

品豐

雄学

待應職 農業資格 遇格種

合在! 館花浪 花浪

尋ネ犬

行け

際人自な流外市場合は南方共築圏、大陸へ

業

紹介

外務社員採用 学職蔵 本語ス 館樂喜

イビ病 随きが典 関を力典 関 場劇花桃

鍾淵朝鮮販賣蘇式 家族少き方は住宅あり **石草映畵劇場** 每夕六時開海 岡本 治玉 右 丸 座

日朝

大田春春町三月 0 小三大田春春町三月 0 小三大田春春町三月 0 小三大田春春町三月 0 小三大田春春町三月 0 小三大田春春町 三月 0 千三大田春春町 一月 東京

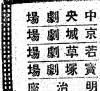
符

選

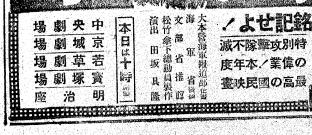
應募 養集 人員

一、赴任豫定 面接日時及

清津製鐵所行工 員







演出 田 坂 具 隆 次 部 省 推 原 次 部 省 推 原 本管海軍報道部企業

ノよせ記銘 滅不隊擊攻別特



はならぬ、一個國民のすべてが全

し日本一國のみで生産しつゝ既非

青年こそ次代の原動力

億の先頭

佐大原栗 送放演講

し終り重要な機略巡顧を無事獲得わが開が南方共築圏を完全に役定

を遂行する能力を獲得するに至う

功によって日本は自続より数はお

ならない。従ってこれがらがもつ

その違大な武績と大規模な生産力|攻が一日還れは一日だけ情勢は米|

たいつてある。するはも当日院。 へを戦争して気ひたいのだ。 と誰、 超報してあるがわが方としては職時の不利 といふことを職一 に大樹繁を知りた時の顔氏のむ郷一すべての手説を用ひて對日辺衰に

ルパート作成に関して『余は諸君』

すべての手段を用ひて對日反攻に主な對日反攻である、敵はこれら

過ぎない、然しながらこの可能をなく壁に可能を可能を可能ならしめるに

の反攻を緊張しわが手中にある質

一可能を与しめるに

た問題の対験院を中成し彩色に対、現政院の戦策は「自領の ためのれた作識を通行せいるを得なかっ」を領域する。が現在の自得である。たれた作識を通行せいるを得なかっ」を領域する。が現在の自得である。

ための威闘であり、この諸殿の成一の殿窟を徹底的に破壊しなければ

焦度しつゝおることを配るもので

ゆるとのことは一つの世界史的事

古來青年は その時代の に目むを 得ざる』 歌野でありわ

進度すべき館を展開した、なほ同語演は全選に中郷放送された

て開催された領替領主艦の耐急整領會の際上。計争に跳る』と聴じて魏久の鬱河を行ひ今天「東京衛門」大本然派可報道部震長栗原大院は八日午後一時から早和田大寨大腿觀蒙に沿い

南太平洋、中部太平洋の各市

全に米國の敗北である、從つて日

事膜がそこに至つたならば完

広岸大なる原果を繋げ日本化丘符。 る別れがある、しかしてこの消火 販学』である、緑酸において光線一れば火事はですく 擬大しを関す

空帯を

基齢とする

非常に大規模

一みないといるのが糸側の

歩へであ

リ深た。この目婚園神社では午間十時 日報つを歴史的一瞬間はこの八日とと

五十四萬七千(俘虜及び闖順約四十萬二千を一朝方及アリユーシャン方面 南方及アリユーシャン方面

五萬四于百三十二名、

戦史に不滅の偉勳

師く蘇々たるこの一年間の陸軍

取り 電線上点に 侵入し來たつたが、彼ら一機を職跡、徹は遺垣した、さらに六日子後郭時中およびて歌歌,その物は強烈し敵の妙國を命歌しつくある、職ち去る五日には、F仲十五機をもつて三回にて황尼の郭司が縁を試み、戰日郭操自方に出戦しつくめるが、わが新紀戦闘後欧は魏忠の和戦をもう

午後出版五十五分の二回 このたる磁米層風版学庫はノースアメリカンB3、P4、P3五機の厳願

唐(唐皇國出身)等の形態群員 (北海道出身) 木林曹長 (東庭殿出身) 郷藤田樹 (長野藤田) (新聞報出身) 邪為曹長 (北海道出身) 木林曹長 (美成親出身) 郷藤田樹 (長野藤田)

東心體等第二周年記念日に當り権

新京の記念日

人り亂れての壯烈な空中戰を展開、

治びせ緊張した。この泉歌なる攻害に遡る微郷は立く満龍状態となり憧憬として顕定し去りわが方金

陰に我方の尊い犠牲

【東京協語】大東部戰爭開始以深不年十一月下旬に至る二ケ年間に

開戦以來輝く陸軍の綜合戰果

縁たる歴史不認の解臭が幾けられ。「郷性のあることを簡単に経記せれ」とき収納するが、特にカイコ宮派

てあるが、この職業の際には、過一ばならは

在支敵空軍を撃滅

陸鷲、常徳で十機血祭り

機を鹵獲し過樂死體六百餘を

發表に欣喜

怪部状態が飛行機関艦部三百七十の一般元三萬二十九百余十二名、飛四十二萬五十(内職部開催)一萬一去一万年の後戦闘を乗じ、わが万

の決意を披置し一僚歌謡歌語につ

き酸解説の趣造館を開始すべき

余程万、戰死確實

日常機成職落を耐に献第五十七郎 【中文〇〇返地七日同盟】 去る三一個場に集合・

類万は一部部下を単へ

部標版

聖職完強の順原を行うた。なほど

を視め施盟駐前外変官を招待 湧き上る獨逸

回顧するとともに翻々背烈の度を

も闘手として敵の疑動を探察すべ」にも中縁される

完発するとともに思想職において

ピン、ピルマをはじめ共張個各地

認識説を行び大阪ニケ年の決職を

夏密し、武力戦に旅行し生配戦を 会されるほが湖、範、に勤し一懐國医の冷静がる勤騰を る、なほこの放災は公

二機。四級超級八十八字といる後一行衆日線未嗣援三百十三機の奪い

約 墜破飛行機四百九十一機、わが方の損害戦死 利三十二萬七十六百七十七、鹵獲ならびに撃 北高、潰棄死體約與東九萬、學康や東京職員 一一萬七十六百七十七、鹵獲ならびに撃 受戦せる敵兵力約並百九十 と 撃沈ならびに撃破せる艦船三百八十九隻

置海釧る臓の飛域に於て、財に必勝の麒
勝を確立し、これと採行して

飽迄も忠誠なれ カラ深電=アンカラ航部ドイツ大

敢て怖るに足らず米の生産力

会えた前側したが向大き間上小磯脳関級試はこのが全地々たる地元を行う決定が取らばない大き不思の関連戦を要ない。 のに続きれた東きに会え、実際影響への数様を通じ動きだし、東島で、リーエロ国や関連官は最終の戦いである。 のに認め、中かとの情報を対し、 のが、いと内容は、実際影響への数様を通じ動きだし、東島で、リーエロ国や関連官は最終の戦後を働い、 のにおめの生みと呼ばれると、 ののでは、 ののでは 朝鮮聯盟 小磯總裁訓示

のが明かに我方に味方してをるやうに客観され、海に心醒き極みで

に依つて宝衣と世界に闡明せられたる大東亜建設の公明無比なる大 精神は敬めて現職争が全東亜民族國民の顧証により支持さらるる所

管第二周年記念大會を開催することに相成ったに就

人使土首相と**會談** 我にあつては質麼政権を除く全東范同胞の

ます、新たなる世紀を顕指するの傾命に立つ度の日本、西のドイツ が断くして限に終記の勝利を削するであらうことの必然を疑び得な

る殿内等衛よりして長期職を不利とする立場から大東地航空が第三 といふ焦り無味を示し來るであらうとは明かであります、過程來ソ年に指し参加は腐み凡ゆる你殿を冒し歌牌、撥和を貼して反路する 第二に螺旋第三年の製器に就て申し上ぐれば、脳米が其の多螺な

軍需品の生産力

以て増産の一絡を進み、敢て米國の生態力を過失

「戦ぶ朝鮮」の面目は

時間下に官臣の極線成を經て心身の强健を踊り戦闘を

を膨すに戦烈も忠誠たらんことを崇むる次第であります。 似心ある者 を膨すと戦闘なる記者を殺し、此處に大東部戦争第三年に入るに名 のて駆闘と勝ひ舞りで戦かる遺傳なからむことを測し、各自の本分 を懸すに戦勢の思いないない。 の職時行動が楽して御譲しの通り寸分の明もなく一人の例外もなく、
國民終く此の悪情を牽騰し努力率往せねばなりません。現在頭牌

るに質り左の如き談話を表表した は六東記職争二周年記念日を迎へ「南京七日同盟」國民政府在主席

叛逆見を驅逐せん 記念日に際し汪主席談

した の世の 新い目 だ界勝官 を の利に で 被

政府の決意披瀝

米英撃滅へ總進軍

成果は友好開係の確認の大きなのでは、一般ない。



小淡色。肌色 二點 と康健に性女 生く**輝に**性知 哪

標的

新

腰切つた熱意を生 受養分を繰取し、 可能に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一

〇手軽に治したい方へ お斷り

鼻の悪い人は 一必ず頭が悪

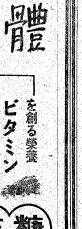
機をる人、物の否ひの戦らな人、一般が耐る人、年中観光が出る人、年中観光が出る人、一般が耐に重く鈍能を

、六日頃 七八八十 七日夜店









お肌の爲にパピリオクレ 厶

ものはあ

ません

はたら

社會式株氮電浦芝京東

国際担空域の深い威略を新たにした 小磯總裁愛國班員へ傲

忘れ得ぬけさの感激

形ける攻闘と閉想の一概を固めて無限勇職を織けており

戦争第三年の關頭に立って



医学博士

京城公平町三六 電光671

總監さん

決戦第三年へ踏出す巨步

言葉を熟く噛みしめ、身内に軽たずば止まず、銃後

色樂の大行進

则 日 %

断针和 台:到

豊田計理事務所

商 況





電公英名^供最沒在重新智慧是所量容益者^以表面容益多更更思想的著意是是显得 山本源作商店 | 九日十十 日まで 時同

官民一丸決戦増産へ

億一心、完勝へさらに邁進

カ上貨機を意味したイタリヤと絶 事質は難じて然らず、ドイツの國一 版に比べますとき多少の最初収め

既に他の上に伸びる原型が、 重劇、努力其の他の 彫刻

申せば、盟邦ドイツも所不敗の職一待つて居ることは流石にヒツトラ他面戦別の職ひは如何であるかと一たる餘裕を以て決戦の機器するを 一部統の意味と中さなければなり

盟邦も亦不敗の態勢

器 RESE 宗城裝置學

京城醫學專門學校助教授愛川隆儀公務出京城醫學專門學校 助教授 愛川隆儀公務出京城縣學專門學校 教教行可佔茲 三十百十日 國家連絡船員衛先生前了御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告任候 解和大年11月1日 國家連絡船員衛先 电阻式缓影學專門學校 助教授 愛川隆儀公務出京城醫學專門學校 助教授 愛川隆儀公務出 企門。



第6章 2000 第10章 2 海 外 科務門班

金林耳鼻咽喉科 斌 電本②1278·(貸化病院跡)

医神学 安田 實 京城加町二(三延東側上ル) 電話 中局 ② 四六五五番

特許 南標 松宮特許事務所 新生 松 宮 日 東 京孫原職人を選す。 東京孫原職人を選す。 東京孫原職人を選する 東京孫原職人を選す。 東京孫原職人を選求。 東京泰原職人を選求。 東京泰康、 東京泰康 東京泰康